

京都大学大学院地球環境学堂地球益学廊【特定有期雇用職員】特定研究員

2024年6月5日

職種	特定研究員(特定有期雇用職員)
募集人員	1名
勤務場所	京都大学大学院地球環境学堂 地球益学廊 環境教育論分野 トレンチャー研究室 https://www.ges.kyoto-u.ac.jp/ (〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学吉田キャンパス内) ※大学が在宅勤務を許可または勤務を命じた場合は自宅等
職務内容等	<p>持続可能な消費者プラスチックの利用促進戦略と循環型経済の実現に関する研究に従事していただきます。</p> <p>本研究室では、日本および他国の消費者および産業用途のプラスチック資源循環促進の取り組みとサーキュラーエコノミー戦略に関する政策、社会、イノベーションシステムの観点から研究を行うポスドク研究員を募集します。今回の募集は、第3期「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」に関連して、トレンチャー・グレゴリー准教授と安藤悠太特定助教の下で研究を行うものです。</p> <p>現在、日本でのプラスチック製品の直線的な使用を段階的に廃止するため、政府、産業界、学术界が協力し研究開発を行っています。特に、プラスチックリサイクルを促進するリサイクル技術とデジタルプラットフォームの開発、関連する消費者行動の特定、サーキュラーエコノミーへの移行を加速するための政策、制度、ビジネスモデル、社会システムの設計に取り組んでいます。</p> <p>我々のチームは、消費者の行動変容とマーケット変革を促進するための社会科学的な研究と実証実験を行い、廃プラスチック製品の回収を促進し、再生プラスチックの需要を拡大することを目指しています。</p> <p>今回募集するポスドク研究員は、日本の市場および社会的条件を、特にヨーロッパなど他の国々と比較し、共通の分析枠組みとアプローチを用いて政策とイノベーションの観点からシステムの特徴、障害、および促進要因を分析することを目的とした研究に従事していただきます。</p>
応募条件	<ul style="list-style-type: none"> ・博士の学位を有すること、もしくはそれと同等の研究業績を有すること ・求められるスキルと経験: <ul style="list-style-type: none"> ・サーキュラーエコノミーおよび資源循環などに関する概念 ・環境政策、イノベーションシステムに関する知識 ・関連する社会科学の理論的枠組み(例: 技術革新システム、社会技術的ロックイン、システムの障害)と方法に関する知識 ・定性および定量的データの両者を活用した手法の経験 ・英語の優れた能力(スピーキングおよびライティング) <p>さらに、以下の条件を1つ以上満たすと望ましい:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の能力(特に口頭でのコミュニケーション) ・政策および社会技術システムの分析スキル ・サーキュラーエコノミーまたはプラスチックの専門知識 ・関連分野で筆頭著者として査読付き英語論文を複数発表していること
雇用期間	令和6年10月1日以降のできるだけ早い時期～令和7年3月31日 (雇用期間満了後、更新する場合あり。ただし、最長プロジェクト終了の2027年度末まで。契約の更新は、契約期間満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、従事している業務の進捗状況、経営状況、雇用されている外部資金の受け入れ状況等を勘案して判断する。)
試用期間	あり(6か月)

勤務形態	専門業務型裁量労働制(週38時間45分相当、1日7時間45分相当) 専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、週 5日 8:30~17:15 勤務 (休憩 12:00~13:00)超過勤務を命じる場合あり 休日:土・日曜日、祝日、年末年始および創立記念日(6月18日)
給与等	月額35万円(年俸制)
手当	なし
社会保険	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入
応募方法	応募書類: ・カバーレター ・履歴書 ・研究の興味および計画の概要(3~4ページ程度) ・発表済みの査読付き論文の写し ・推薦状(最大2通) を「問い合わせ先」のメールアドレスに送付すること
応募締め切り	令和6年7月30日(火)必着 ただし、適任者が決定次第、応募を締め切ります
選考方法	書類審査後、面接(オンライン可)を行います
問い合わせ先	地球環境学堂 環境教育論分野 トレンチャー・グレゴリー メールアドレス:trencher.gregory.2s*kyoto-u.ac.jp (*を@に変えてください)
その他	・提出書類は、採用審査のみに使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。 ・京都大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を期待しています。 ・京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。